

# 横浜市感染症発生動向調査報告（令和6年4月）

## 《今月のトピックス》

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎やRSウイルス感染症など、患者が多く発生しています。
- 梅毒は20歳代～50歳代を中心に、幅広い年齢層で患者が多く発生しており、注意が必要です。先天梅毒も報告されています。
- 海外渡航の際は、食べ物や水、動物や蚊・マダニ対策など、予防と準備を忘れずに行いましょう。

◇ 全数把握の対象 <2024年3月18日～4月21日に報告された全数把握疾患>

腸管出血性大腸菌感染症	3件	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	6件
腸チフス	1件	急性脳炎	1件
E型肝炎	1件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6件
エムボックス	2件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1件
デング熱	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	5件
レジオネラ症	4件	水痘(入院例に限る)	3件
アメーバ赤痢	3件	梅毒	29件
ウイルス性肝炎	1件	百日咳	2件

1. **腸管出血性大腸菌感染症**:20歳代～60歳代で、O血清群はO26が2件、不明が1件です。いずれも感染経路等は不明です。
2. **腸チフス**:60歳代で、感染経路等不明です。
3. **E型肝炎**:70歳代で、経口感染と推定されています。
4. **エムボックス**:いずれも40歳代で、性的接触(異性間)と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件です。
5. **デング熱**:20歳代で、国外での動物・蚊・昆虫等からの感染と推定されています。
6. **レジオネラ症**:40歳代～60歳代で、水系感染または塵埃感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が3件です。
7. **アメーバ赤痢**:50歳代～70歳代で、経口感染と推定される報告が1件、性的接触(異性間)と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件です。
8. **ウイルス性肝炎**:30歳代で、病原体はEBVです。感染経路は性的接触(異性間)と推定されています。
9. **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:10歳代～90歳代で、いずれも感染経路等不明です。
10. **急性脳炎**:20歳代で、病原体は不明です。感染経路等も不明です。
11. **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:40歳代～80歳代で、血清群はA群が5件、G群が1件です。感染経路はいずれも創傷感染と推定されています。
12. **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:30歳代で、感染経路は性的接触(異性間)と推定されています。
13. **侵襲性肺炎球菌感染症**:50歳代～90歳代(ワクチン接種歴1回有1件、無2件、不明2件)で、飛沫・飛沫核感染と推定される報告が1件、感染経路等不明が4件です。
14. **水痘(入院例に限る)**:10歳未満～70歳代(ワクチン接種歴2回有1件、不明2件)で、飛沫・飛沫核感染と推定される報告が1件、感染経路等不明が2件です。
15. **梅毒**:10歳未満～80歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期8件、早期顕症梅毒Ⅱ期9件、無症状病原体保有者11件、先天梅毒が1件です。性的接触による感染と推定される報告が26件(異性間20件、同性間1件、異性間・同性間2件、詳細不明3件)、母子感染1件、感染経路等不明の報告が2件です。
16. **百日咳**:10歳未満～30歳代(ワクチン接種歴4回1件、不明1件)で、家庭内感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件です。

◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
2024年第12週	3月18日～3月24日
第13週	3月25日～3月31日
第14週	4月1日～4月7日
第15週	4月8日～4月14日
第16週	4月15日～4月21日

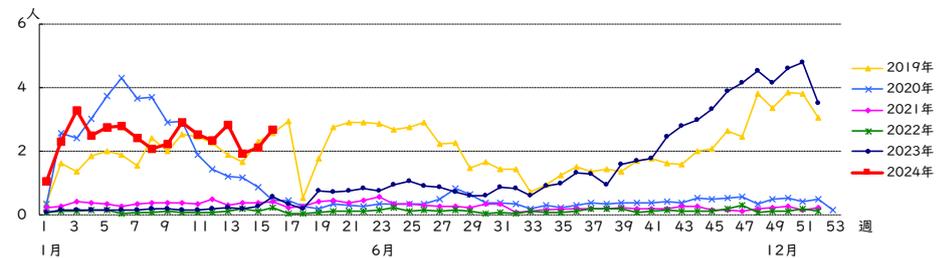
1 新型コロナウイルス感染症

2024年第5週(12.45)をピークに減少し、その後横ばいの状態で推移しています。第16週は3.05です。



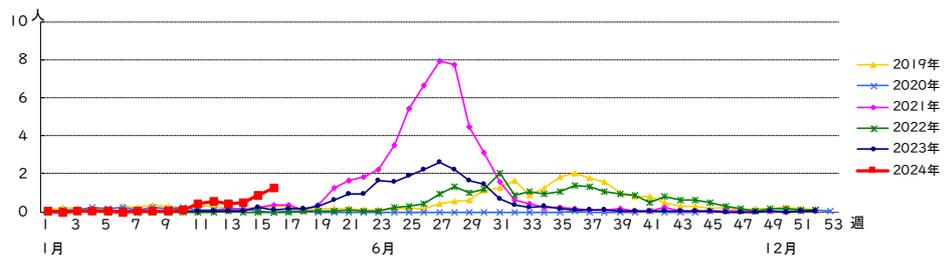
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2024年第16週は2.67で、第14週以降増加が続きます。過去5年間の同時期と比較し、患者数が多い状態で推移しています。



3 RSウイルス感染症

2024年第11週以降増加傾向がみられ、第16週は1.28となっています。過去5年間の同時期と比較し、患者数がやや多い状態で推移しています。



4 性感染症(2024年3月)

性器クラミジア感染症	男性:37件	女性:15件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:12件	女性:11件
尖圭コンジローマ	男性:10件	女性:3件	淋菌感染症	男性:16件	女性:3件

5 基幹定点週報

	第12週	第13週	第14週	第15週	第16週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

6 基幹定点月報(2024年3月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	16件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	1件	-	-

### ◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときのみ行っています。

### 〈ウイルス検査〉

2024年第12週～第16週に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点50件、内科定点10件、基幹定点3件、定点医療機関外3件でした。

5月1日現在、表に示した各種ウイルスの分離21株と遺伝子21件が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果（2024年第12週～第16週）

主な臨床症状等 分離・検出ウイルス	イン フル エン ザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	低 月 齢 発 熱	ウ イ ル ス 感 染 症
インフルエンザウイルス AH1pdm09	3 -	- 1			
インフルエンザウイルス AH3型	1 -				
インフルエンザウイルス B型（ビクトリア系統）	12 -	2 -			
ヒトメタニューモウイルス			- 7		
ヒトコロナウイルス HKU1型		- 1	- 1	- 1	
ヒトコロナウイルス NL63型			- 1		
ヒトコロナウイルス 229E型					- 1
アデノウイルス 2型		1 -			
アデノウイルス 3型		1 1			
パラインフルエンザウイルス 3型	- 1	- 1	- 1		
RS ウイルス		- 1	- 1		
ライノウイルス		- 2			
ヘルペスウイルス 1型			1 -		
合計	16 1	4 7	1 11	- 1	- 1

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

## 〈細菌検査〉

2024年第12週～第15週の「菌株同定」の検査依頼は、基幹定点医療機関からサルモネラ症2件、コレラ疑い1件、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1件でした。保健所からの検査依頼は、腸管出血性大腸菌感染症1件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症18件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症5件、侵襲性肺炎球菌感染症1件でした。

「分離同定」の検査依頼は、基幹定点からボレリア感染症疑い4件、敗血症起因菌遺伝子検索2件、保健所からレジオネラ症2件でした。

「小児サーベイランス」の検査依頼はありませんでした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2024年第12週～第15週)

菌株同定		項目	検体数	血清型等
医療機関	基幹定点	サルモネラ症	2	<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (1) <i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>enterica</i> O4群 (1)
		コレラ疑い	1	<i>Vibrio cholerae</i> O1 コレラトキシン非産生 (1)
		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	<i>Staphylococcus aureus</i> (1)
		腸管出血性大腸菌感染症	1	O26:H11 VT1 (1)
保健所		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	18	<i>Enterobacter cloacae</i> complex (14)、 <i>Escherichia coli</i> (2) <i>Klebsiella pneumoniae</i> (1) <i>Citrobacter freundii</i> complex (1)
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5	A群溶血性レンサ球菌 T4型 (2) A群溶血性レンサ球菌 T1型 (1) A群溶血性レンサ球菌 T22型 (1) G群溶血性レンサ球菌 (1)
		侵襲性肺炎球菌感染症	1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (1)
分離同定	材料	項目	検体数	同定、血清型等
医療機関	基幹定点	血液	1	ライム病、回帰熱ボレリアPCR 陰性 (1)
		血清、髄液	3	ライム病、回帰熱ボレリアPCR 陰性、抗ボレリア抗体 陰性 (3)
		血液培養ボトル	敗血症(細菌遺伝子検索)	2
保健所	喀痰	レジオネラ症	2	<i>Legionella pneumophila</i> SG13(1) 培養陰性 (1)
小児サーベイランス	材料	臨床症状	検体数	同定、血清型等
小児科定点	なし			

【 微生物検査研究課 細菌担当 】